

# 諏訪の杜っ子

令和4年11月30日  
福津市立福間小学校  
文責 校長

人とつながって表現し、納得できる(笑い合う)子供の育成  
コラボ&トライ

## 福間小の最上級生として。 6年生修学旅行

新型コロナウイルスによる影響が心配されましたが、11月15、16日に6年生は修学旅行を実施しました。目的地は、長崎と島原。1日目、長崎では平和公園周辺のフィールドワークを中心として、平和学習を行いました。福間小から持っていった折り鶴を捧げ、学級ごとに平和式典を



行い平和への思いを確かめました。二日目は島原。普賢岳噴火による火砕流でコンクリート部分だけが残った大野木場小学校跡を見学し、自然災害の脅威を感じることができました。今、気候変動により大雨や熱波、大型台風などへ従前にはなかった備えが必要になってきています。また、日本は自然災害が多い国でもあり、防災の視点で貴重な見学ができました。その後はフェリーで長洲にわたり、最後にグリーンランドで楽しいひと時を過ごしました。

さて、出発前日に団結式を行いました。体育館に入ってきた6年生は、担任の先生の短い合図だけで並ぶ、指示されずに自分達で整列する、整列後の報告をするなど、修学旅行に向かう態度ができていました。実行委員から「感謝」「マナー」「絆」「責任」「自主的」「真剣」「平和」「最高学年」などめざす姿が示されました。それを背筋を伸ばし真剣に受けとめる子供達の様子からは、福間小の最上級生として修学旅行に行く意識が強く感じられました。

宿舎到着後に行った入館式では、ホテルの方から6年生の態度のすばらしさを誉めていただきました。退館式でも、司会の話し方はもちろん、自分達への言葉かけにも、はきはきと返答していました。旅行を通して班や友達で声を掛け合って行動していました。目的実現に向けて努力する、下級生にも是非見せたい姿でした。

到着式では実行委員が「目的や心構えを守る(達成する)ことができた」と述べていました。

子供達が目標を確かにもって二日間を過ごし、それぞれに満足感や自分なりの課題を得る貴重な学びの機会になりました。